

# 青嶺 Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

## 転出入職員の紹介

令和5年度の定期人事異動により、転出入した職員をご紹介します。

\*\*\* \*\* \*\*

## 「転入」

退職された先生方、転出された先生方におかれましては長年、青嶺中のために力を尽くされ心より感謝申し上げます。新天地での活躍をお祈りいたします。

新しく赴任した職員は6名です。新2、3年生との初顔合わせは4月7日(金)の赴任式となりました。これから、どうぞよろしくお願いたします。

## 令和5年度スタート

新しい年の始まりはいくつになってもワクワク、そわそわするものです。4月7日の朝、自宅から車を走らせるのと一時間、青嶺中に到着したのが七時十五分頃でした。するともう何人かの生徒の姿。きつとたくさんの期待と、少しの不安で私と同じようにワクワク、そわそわしていたのかな？と想像しながら、校長室に向かいました。

## 赴任式で

生徒たちからの歓迎の拍手で迎えられて、6名の職員は緊張した面持ちで体育館に入場しました。壇上上がり、自己紹介へ。それぞれの個性あふれる自己紹介に、最初は硬かった生徒たちの表情が徐々に和らいでいきました。

## 青嶺ブランド！

生徒会長さんからの歓迎の言葉をいただきました。その中で最も印象に残った言葉が「青嶺ブランド」です。生徒たち自身の中にしっかりと根付き、その伝統を継承し、発展させていくという気概を感じました。本当に素晴らしい伝統です！

## 始業式

続いて行われた始業式では、生徒たちに次のような話をしました。

充実した一年にするため「知る」ことを大事にしてほしい。自分と人は違うからこそ、たくさん関わり、粘り強く対話することを通して「知ろうとすること」「知ってもらおうとすること」を続けよう。決めつけをしないように人間だけが備えている「想像力」を働かせよう。

自分を大事にし、知ることによって成長し、自分と違う他者を尊重する。そうすれば、自ら考え行動できる人間にきつと成長できるといきたいと思います。

生徒たちは真剣に耳を傾けてくれました。将来に渡って必ず必要となる、「自分と異なる考えや価値観を持つ人と協力できる関係を築く力」をこの青嶺中学校で磨いてほしいと心から願っています。

## 校長室より

### あいさつ

この4月1日付けで青嶺中学校に着任しました、田中泰司(たなかたいじ)と申します。どうぞよろしくお願いたします。

前任の東与賀中では教頭として勤務しておりました。これから校長として頑張っていく所存です。現在は佐賀市に家があり、片道一時間以上かけて通勤しますが、美しい景色と運転を楽しみながら通いたいと思います。

以前、長崎で教員をしており、お隣の松浦市の御厨中学校、佐世保市の東明中学校で勤務しました。佐賀に来てからの最初の学校が玄海町立有浦中学校であったこともあり、潮の香りや風力発電の施設、山並みなどを見ますと、懐かしい多くの思い出が蘇ります。長い人生の旅路の途中で数えきれない出会いがありますが、今回の出会いに感謝し、実のあるものに育てていきたいと改めて感じているところです。子どもたちにとって安心して通え、伸びやかに過ごせる学校づくりに励んでまいります。ご協力のほどどうぞよろしくお願いたします。

